
JF T S 2026年度 通常総会資料

- 第1号議案 2025年度事業報告
- 第2号議案 2025年度収支決算
- 第3号議案 2026年度事業計画
- 第4号議案 2026年度収支予算
- 第5号議案 役員の選出

2026年5月17日

日本フードツーリズム学会

第1号議案 2025年度事業報告

(1) 通常総会

- ・日 時：2025年5月18日（日） 10:00～11:00
- ・会 場：オンライン（Zoom）
- ・議 題：第1号議案 2024年度事業報告
 第2号議案 2024年度収支決算
 第3号議案 2025年度事業計画
 第4号議案 2025年度収支予算
 第5号議案 役員の選出（変更）

(2) 理事会

回	開催日	内 容	出席者	会 場
第1回	4月12日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・研究分科会（研究支援費）の採択審議 ・新入会員の入会審査 ・2025年度通常総会の資料確認 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・『日本フードツーリズム学会誌』の編集進捗 	10名	オンライン
第2回	5月18日（日）	【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2025通常総会 ・視察研修会 	10名	オンライン
第3回	7月12日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の入会審査 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修会 ・第8回研究大会 ・視察研修会 	7名	オンライン
第4回	10月18日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の入会審査 ・第8回研究大会 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・フードツーリズムセミナー ・会費納入状況 	10名	オンライン

第6回	1月10日(土)	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・第8回研究大会 【報告事項】 ・会員状況	9名	オンライン
第7回	2月1日(日)	【審議事項】 ・新入会員の入会審査	—	書面開催

(3) フードツーリズムセミナー

- ・日 時：2025年5月18日(日) 11:00~12:00
 会 場：オンライン (Zoom)
 講 師：青木 洋高 (文教大学・日本フードツーリズム学会事務局長)
 テーマ：ツーリズムにおけるソバークュリアス概念の活用可能性
 参加者：30名
- ・日 時：2025年10月4日(土) 14:00~15:30
 会 場：泉橋酒造株式会社
 テーマ：米づくりからの酒造り
 参加者：10名
 担 当：稲本理事

(4) 視察研修

- ・日 時：2025年7月15日(火) 13:00~16:00
 会 場：大阪・関西万博
 テーマ：大阪外食パビリオン「宴」の視察案内 スペインパビリオン視察後意見交換
 担 当：萩野理事

(5) 第8回研究大会

- ・日 時：2026年 2月 15日(日) 13:00~18:00
- ・会 場：追手門学院大学
- ・参加者：36名
- ・プログラム

基調講演

「はじまりの奈良、これからの奈良 ～官民一体とした食と観光の支援体制～」

下浦 隆裕 氏 奈良県庁奈良県食農部 豊かな食と農の振興課 課長

研究分科会報告

- 1) 洋梨の生産過程で発生する廃棄物活用による着地型フードツーリズム開発

川崎 真理子 ほか計6名

2) 機能性食材『蕎麦』のご当地グルメ化と地域価値創出のプロセス分析

青木 洋高

3) 奈良のガストロノミーツーリズムの可能性を探る

～「奈良にうまいものなし」は返上できるのか～

白石 恵子 山口 美穂 浅野 幸治

研究報告

1) 47 都道府県酒造組合の酒蔵分布から見た酒処と酒蔵見学旅に関する研究

大原 高秋 高知工科大学

2) ローカル・ガストロノミーツーリズムの形成—飲食施設情報の進展と非対称性の改善に着目して—

山口 一弥 宝塚医療大学

3) 「ご当地グルメ」を通じたウェルビーイング的価値の創出

—フードツーリズムの視点から—

青木 洋高

4) 「幻のサツマイモ」を地域資源へ転換する試み—発酵を媒介とした価値創出の実践報告

野村 京子 かなざわ食マネジメント専門職大学 ほか計6名

5) 「映え消費」仮説の再検討 地域ブランド食品評価における伝統・信頼の媒介効果

藪下 保弘 金城大学 ほか計6名

6) ブドウ栽培の6次産業化と農村レストランを基盤としたフードツーリズムの展開

—農村民泊発祥の地・大分県安心院を事例として—

中村 哲也 共栄大学 二宮 広和 二宮農園

7) クルーズ船の規模による食事体験の比較研究

糸澤 幸子 沖縄キリスト教学院大学

(6) 『日本フードツーリズム学会誌』

・第4号を2025年6月発行した。

*研究成果を社会に広げる目的で、国立国会図書館、公益財団法人味の素の文化センター、旅の図書館に納本した。

(7) 研究分科会（研究支援費）の公募

・2025年度は3件の研究分科会が採択された。

(8) 会員数の状況

・2026年3月31日現在

63名（うち、正会員59名、学生会員4名、賛助会員0名）

*昨年度の同時期から4名増加

なお、顧問（橋爪紳也氏）、名誉会員（佐藤智子氏）については、年会費を徴収しない

第2号議案 2025年度収支決算

第2号議案 2025年度収支決算


2025年度収支決算書 (会計期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	850,718	703,828			
会費収入	248,000	310,000	事業費	162,244	310,000
(正会員)	240,000	300,000	(謝金)	44,000	70,000
(学生会員)	8,000	10,000	(旅費交通費)	0	10,000
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	118,244	150,000
事業収入	44,000	20,000	(会場費)	0	40,000
(ゼミナ-参加費)	0	20,000	(印刷費)	0	20,000
寄付金	0	0	(消耗品費)	0	20,000
繰越金	0	0			
雑収入	1,125	0	管理費	34,056	55,000
			(HP運営費)	32,736	40,000
			(通信費)	0	5,000
			(雑費)	1,320	10,000
合計	1,143,843	1,033,828	合計	196,300	365,000
	(292,000)		次年度繰越金	947,543	668,828
				(三井住友銀行)	

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2026年5月10日 会計監査

五嶋俊彦 

同 恵 

第3号議案 2026年度事業計画

(1) 通常総会

- ・日 時：2026年5月17日（日） 10:00～11:00
- ・会 場：オンライン（Zoom）
- ・議 題：第1号議案 2025年度事業報告
第2号議案 2025年度収支決算
第3号議案 2026年度事業計画
第4号議案 2026年度収支予算
第5号議案 役員の選出（変更）

(2) 理事会

- ・年間5回程度を開催する。

(3) フードツーリズムセミナー

- ・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連するセミナーを1～2回開催する。
- ・正会員の獲得も兼ねたセミナーとして、会員および非会員（非会員は有料——入会する場合は無料とする）を対象に積極的に企画・実施する。
- ・通常総会後に会員を主たる対象として、フードツーリズムセミナーを実施する。
「おいしさの源泉をめぐる物語 — 地域の食と知的財産 —」
岡恵（日本フードツーリズム学会 理事）

(4) 視察研修

- ・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に1回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
 - ＊視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。
 - ＊視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
 - ＊傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。
 - ＊上記（3）のフードツーリズムセミナーとして実施する場合もある。

(5) 第9回研究大会

- ・日時：2027年2月14日（日）（予定）
場所：東京経済大学
 - ＊詳細は、今後の理事会で検討するが、概ね、第8回研究大会の内容（基調講演、研究分科会報告、研究報告）を踏襲して企画する。

(6) 『日本フードツーリズム学会誌』

- ・第5号の発行に向けて、編集作業中である。2026年5月中に発行予定。

(7) 研究分科会

- 2026年3月1日に公募を開始し、3月31日に締切、4月12日の第1回理事会において、以下の2件（新規1件、継続1件）が採択された。なお、以下の研究分科会への参加を希望する会員は、事務局から研究代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】大分県のイチゴ産業を核とした食農観光クラスターの形成

中村哲也（研究代表者）

【継続】ウェルビーイング志向によるご当地グルメの創出

青木洋高（研究代表者）

*継続は最長2年とし、研究費は前年度の残額を上限とします。

第4号議案 2026年度収支予算

2026年度収支予算書 (会計期間：2026年4月1日～2027年3月31日)					
					(単位：円)
【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	947,543	947,543			
会費収入	310,000	248,000	事業費	210,000	118,244
（正会員）	300,000	240,000	（謝金）	30,000	0
（学生会員）	10,000	8,000	（旅費交通費）	10,000	0
（賛助会員）	0	0	（研究支援費）	100,000	118,244
事業収入	20,000	0	（会場費）	30,000	0
（セミナー参加費）	20,000	0	（印刷費）	30,000	0
寄付金	0	0	（消耗品費）	10,000	
協賛金	0	0			
雑収入	1,200	1,125	管理費	90,000	34,056
			（HP運営費）	40,000	32,736
			（通信費）	40,000	0
			（雑費）	10,000	1,320
合計	1,277,543	1,196,668	合計	300,000	152,300
			次年度繰越金	977,543	1,044,368

<科目別予算計上の考え方>

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- 会費収入：正会員60名（3月31日時点で59名）、学生会員5名（3月31日時点で4名）を想定。
- 事業収入：2回の開催（1人当たりのセミナー参加費：会員は1000円、非会員は1500円）を想定。
- 研究分科会：1研究分科会あたり上限5万円とする。
- 会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。
- 通信費：学会誌等の送本代金。

第5号議案 役員の選出（変更）

【役員（敬称略）】

会 長：（留任）中村忠司（東京経済大学）

副会長：（留任）村上喜郁（追手門学院大学）

事務局長：（留任）青木洋高（文教大学）

理 事：（留任）稲本恵子（宝塚医療大学）

（留任）傍嶋則之（宝塚医療大学）

（留任）萩野哲也

（留任）平島佳世子（株式会社 Double Doors）

（留任）山原一晃（東京経済大学）

（留任）藪下保弘（金城大学）

（留任）安田巨宏（旅の創造研究所）

（留任）野村京子（かなざわ食マネジメント専門職大学）

監 事：（留任）岡恵（弁理士法人オフィス大江山）

（留任）五嶋俊彦（京都外国語大学）